

# 教育委員会だより

第21号 (平成30年8月~11月)

発行者  
池田町・養基組合教育委員会  
池田町六之井1468-1  
tel.0585-45-3111 fax.0585-45-8314  
e-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

## 地域とともにある 「コミュニティ・スクール」 開始に向けて

「地域でどのような子どもたちを育てるか」  
そのために「どのように関わってゆくか」とい  
うビジョンを学校・家庭・地域が共有し協働し  
て取り組む「コミュニティ・スクール」(学校運営  
協議会制度を導入した学校)が、全国的に始ま  
ります。

池田町においては、すでに地域ぐるみの教育  
に取り組んでいますので、更にそれをいかし発  
展させてまいります。

学校は地域のいろいろな立場の皆様からご意  
見を伺い、あるいは承認をいただいて、学校運  
営に反映させていきます。

また、地域の皆様の豊かな経験や特技・趣味・  
関心をいかして、皆様  
に学習支援や生活環境  
支援、行事支援などに  
ご協力を願います。

「地域とともにある  
学校」を活性化し、子  
どもたちを豊かに育て  
ていけるよう、ご理解  
とご協力をよろしくお  
願いたします。



## 全国学力・学習状況調査 の結果から

4月17日に小6、中3を対象に全国学力・学習  
状況調査が実施されました。

教科に関する調査は、国語、算数・数学、理科  
について行われ、国語、算数・数学については、  
「知識」に関する問題(A問題)と、「活用」に  
関する問題(B問題)として出題され、また、生  
活習慣や学習環境等に関する質問紙調査も併せて  
行われました。

教科に関する調査について、小学校では、国語  
ABと算数Bは、全国や県の平均正答率とほぼ同  
じで、算数Aと理科については、やや低い結果で  
した。中学校では、全ての教科で全国や県の平均  
正答率とほぼ同じ結果がみられました。これは活  
用力の向上に取り組んできた成果と言えますが、  
基礎的な力を身に付ける指導を継続する必要があ  
ると考えます。

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査では、  
家庭での学習状況は県と比べてよい結果でした。  
予習、復習をする児童生徒が増えていることから  
授業内容の理解が深まり、授業への参加意欲が高  
まっています。また、地域社会の行事に積極的に  
参加する児童生徒が多く、地域の一員であるとい  
う自覚が育っているといえます。

生活や学習への取り組みの状況は、学力調査結  
果と相関関係があります。生活習慣や学習環境等  
の指導に力を注いでいきたいと考えます。

## キャリア教育の実践状況について

池田町では「自立できる子どもをみんな育て  
池田町」を目的に「キャリア教育」を推進してい  
ます。

池田中では3年生を対象に「池中15のREAL」  
と題し、農業・IT関係・看護師・消防士・料理  
人・設計士・NGO職員など様々な職種の15人の  
講師に話を聞きました。「働くとは」「やりがい  
とは」「挑戦するとは」「15才のときの夢は」な  
どの話を聞いて、生徒たちは、「夢は変わっても  
良い。人との繋がりが人生を左右する。目的や目  
標を持って生きる。一学生で続ける。仕事は誰か  
の役に立ち笑顔を作るもの」など多くのことを学  
びました。



講師と座談会をする池田中3年生

2年生は、多くの事業所のご理解とご協力によ  
る「職場体験」を実践し、働くことや学ぶことの

意義を実感しました。

今後も地域の事業所へ体験学習の受け入れをお願いし、子どもたちが、社会と関わりながら生きる力を身に付けるとともに「勤労観・職業観」の醸成ができるようになっていきます。

### 学校教育事例発表会

8月4日、中央公民館で「豊かに生きる ～英語教育・福祉教育・キャリア教育を通して～」をテーマに「池田町学校教育事例発表会」を行い、多くの方に参観していただくことができました。

英語活動発表では、八幡・池田・温知小学校が、授業の様子を発表し、クイズを出したり客席に降りたりして参観者も巻き込みました。中学校は、各自が設定したテーマで、聞き手を意識した英語スピーチになりました。池田高校は、ESD国際交流プログラムによるインドネシアでの海外研修の様子を英語で報告しました。

福祉活動発表では、宮地・養基小学校が総合的な学習で学んだことを、中学校が生徒会活動として取り組んでいることを発表しました。交流を通して、他の人を理解する心が育ってきていると感じました。

キャリア教育では、中学校の生徒が、「職場体験学習」や「池中15のREAL」についての体験を通して学んだことについて、サンビレッジ国際医療専門学校が「介護の現場だからこそ学べること」について発表しました。

地域の方からは、「毎年この発表会を楽しみにしているのですよ。今年も子どもさんたち、よくやられました」

ね」との声をいただきました。地域の方に支えられながら今日まで歩んできていると思えました。



小学生の発表の様子

### 夏休み英語合宿

Three Days English Shower at Ikeda

初めての試みとして、夏季休業中の中学生を対象に、8月21日～23日、青少年研修施設を利用して会話はすべて英語とする英語合宿を実施しました。

合宿では日常的に英会話に親しむことを目的とし、参加者15名に対し、多くのボランティアのご協力を得ることが出来ました。

「英国に旅する」という設定で、会話指導の先生の問いかけに対して答えたり、英語ナレーションの映像を見て場面ごとの内容について解説したりしました。「日本

文化の紹介」では、生徒たちが持ってきた折り紙、けん玉、こま等の遊び方について英語で説明し合うなど積極的な取り組みができました。

また、日常英会話のコツを教えていただき、音楽は身近にある楽しみながら学べる教材であること、街で見かけた海外からの旅行者に進んで声をかけてみようといったアドバイスを頂きました。

参加した生徒は最初は不安そうな堅い表情でしたが、時間がたつにつれ笑顔があふれ、最後に各自成果について英語で発表した時には、中学生の吸収の早さに驚かされました。

この英語合宿にあたり、関わってくださったボランティアの先生・講師の皆さんに感謝申し上げます。



ボランティアの先生との個別の話し合いの様子

### 明和義民感謝祭で 宮地小児童が熱演

今年の明和義民感謝祭はいくの雨で、宮地小での実施となりましたが、例年のように4年生が演劇を披露してくれました。過去に明和義民に関する小学生の演劇が大変好評で、それ以後この感謝祭では小学生の演劇が恒例となっています。

今年の演劇の内容は明和義民に直接関係するものではありませんでしたが、宮地地域に昭和30年代まで続いた「草競馬」を題材にしたもので、当時を知るものにとっては大変懐かしいものでした。

宮地小では、感謝祭が行われることから、前もって「明和義民」の意味や当時の出来事（江戸時代明和三年の「盛軒騒動」）について、紙芝居を使った全校児童への説明が行われており、授業で習う一揆が大変身近で起



大変懐かしい草競馬の様子を演じる宮地小の4年生

きていたことに改めて興味を持つた児童も多かったです。児童・保護者・教師の負担も少なくはないと思われませんが、このような行事

に小学生が参加し、郷土の歴史に触れることに意義を見つけられるとよいと思います。

### 県域を越えたつながりの中で

10月6～7日、池田町ジュニアリーダーズクラブと福島県国見町ジュニア応援団との交流事業が行われました。この交流は平成28年度に始まり今回で3回目となります。東日本大震災からの復旧のため池田町からの職員派遣を契機に、災害時相互応援協定、そして友好交流協定を締結して、相互に訪問と交流を行い絆を深めてきました。

対面式でのアイスブレイクによるグループ作りの後、池田町内の史跡見学、池田温泉での交流会、翌日のふるさと祭での国見町ステージ発表などの時間をともに過ごし、新しい出会いを楽しみながら繋がりを築きました。

2日間という限られた時間ながら、それぞれの町の風土や言葉、学校生活などの話題で大変盛り上がり、県域



新しい出会いを楽しむ子どもたち

を越えてかけがえのない繋がりを築くことができました。子どもたちにとって貴重な体験となりました。

### 第31回池田町文化祭

文化の秋を迎え、11月3～4日に第31回池田町文化祭を開催しました。中央公民館や各地区公民館での生涯学習の成果が、民謡、詩吟、舞踊、ダンスなどの芸術部門と絵画、書道、陶芸、手芸などの展示部門でそれぞれ披露されました。

また、昨年度まで多目的ホールで展示していた小中学生の絵画や書道などは、台風21号の影響で建物が使用できなくなったため、中央公民館の廊下や各部屋で展示しました。昨年までは違って各学校ごとでまとめたためとても見やすくなり、学校ごとに見ることによって、それぞれの特色が分かりやすくなりました。小中学校の展示を見に来られた人はほとんど家族ついで、作品と子どもと一緒に記念撮影する光景があちこちで見受けられました。



子どもたちの作品を観る家族づれ

昨年は台風の接近で2日間とも悪天候でしたが、今年の初日は秋晴れの素晴らしい天候に恵まれ、多くの方々が来場しました。作品を出展した人、舞台で披露した人、来場した人それぞれが芸術の秋を満喫した2日間でした。

## 池田小学校研究発表会

11月7日池田小にて池田町・養基組合教育委員会指定の研究発表会が行われました。

昨年度のプレ発表会を踏まえた算数科指導の発表会で充実したものとなりました。授業は、積極的に手を挙げ発表したり、発表者の方を見てうなずきながら聞く子どもたちが多く、学習姿勢が見事に育っていました。

また、「仲間とかかわり問題解決する子どもを育てる教育」の一端としてのペア交流の状況が印象的でした。理解していると思ってもペア交流で友だちに説明してみると思い違いをしていたり、説明することで新たな解き方を思いついたりします。友だちの反応をみて、あれっ間違っているのかな？と考え直している姿も見られました。子どもたちの理解を定着させ、さらに深い理解を狙っての学び合いが実践されていました。



ペア交流で友だちに説明する3年生

公開授業の後、参観された町内の先生方、助言者の先生方との全体での研究構想の発表、学年別分科会でのグループ討議、全体討議等が熱心に行われ良い研究発表会でした。

## 教育委員就任にあたり



10月就任の野原委員

養基組合教育委員

野原 浩司

10月1日付で、養基組合教育委員に就任いたしました。

民間企業で約45年間、「お客様第一主義」を基本理念として働いてきましたが、今回、学校教育に関わることとなり「児童・生徒第一主義」を理念として地域との連携などに努めていきたいと考えています。

教育の課題は「グローバル化」や「情報化」、「少子高齢化」などの社会の急激な変化に合わせた柔軟な対応であり、また、「安全・安心」な教育現場を継続維持することであると感じています。

このような社会情勢の中、学校教育に関わる行政・先生方の日々のご苦労には頭の下がる思いで感謝しかありません。微力ながら、皆様のお手伝いができればよいと考えています。

よろしくお願ひします。

### ご寄付 ありがとうございました

池田町藤代に工場がある安田工業株式会社様から手動噴霧器をご寄付いただきました。

記録的な猛暑が続く小中学校でも熱中症対策等に苦慮していたところ、農業用の手動式噴霧器を、学校の体育、部活動で手軽に使えるミストシャワーとして活用できればと、2台ご寄付いただきました。

### 編集後記

異例づくめの自然災害が頻発する中で平成最後の夏と秋が終わりましたが、体育祭・運動会は、中学校・小学校・保育園とも、一度延期の後、これ以上無いと思われるような快晴の下で開催されました。各段階での的確な判断の結果であり、良かったと思います。生徒・児童の皆さんにとって、良い思い出となった事と思います。

あと数か月で平成が終わります。毎日を大切に過ごしていきたいものです。

本たよりについて、お気づきの点があれば、お知らせください。

編集担当 河村安泰 西川 昭

### 教育委員会の主な活動報告 平成30年8月～11月

日付	活動	備考
8月4日	学校教育事例発表会	中央公民館大ホール
〃	池田町・養基組合合同臨時教育委員会	中央公民館教育センター
8月13～17日	学校閉庁日	町内小中学校
8月21～23日	英語合宿	青少年研修センター
8月31日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館第3研修室
9月18日	中学校体育祭	池田中学校
9月23日	小学校運動会	町内各小学校
10月5日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館第3研修室
11月7日	教育委員会指定研究発表会	池田小学校
11月9日	市町村教育委員会連合会研究総会	美濃市文化会館
11月21日	研究発表会中間まとめの会	池田中学校